



2024年3月29日

各 位

会社名 株式会社ゼットン
代表者名 代表取締役社長 鈴木 伸典
(コード番号:3057 名証ネクスト市場)
問い合わせ先 管理本部長 森 充
電話番号 03-6416-4820(代表)

(訂正・数値データ訂正)「2024年1月期 決算短信[日本基準](連結)」の一部訂正について

2024年3月12日に開示いたしました「2024年1月期 決算短信[日本基準](連結)」の記載内容に一部訂正の必要が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後のデータも送信いたします。なお、本件はキャッシュ・フロー計算上の計上科目の変更を行ったことによるものであり、既に公表しております業績に影響はありません。訂正箇所は_を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

「2024年1月期 決算短信[日本基準](連結)」の発表後、有価証券報告書の作成過程におきまして、連結財務諸表に関する注記事項及び連結キャッシュ・フロー計算書の記載に一部誤りがあることが判明したため、関連する項目の数値の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

(1) サマリー情報

1. 2024年1月期の連結業績(2023年2月1日～2024年1月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

【訂正前】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年1月期	626	△683	△216	1,585
2023年1月期	536	△735	△466	1,794

【訂正後】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年1月期	485	△683	△75	1,585
2023年1月期	536	△735	△466	1,794

(2) 添付資料3～4ページ

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ209百万円減少の1,585百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は626百万円(前年同期は536百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益108百万円、減価償却費298百万円及び使用権資産償却費226百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は683百万円(前年同期は735百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出668百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は216百万円(前年同期は466百万円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出366百万円等によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年1月期	2024年1月期
自己資本比率(%)	33.4	4.2	39.1	41.1	38.0
時価ベースの自己資本比率(%)	101.4	103.5	96.4	87.8	108.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.2	—	1.2	1.8	<u>1.4</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	125.1	—	24.9	54.0	<u>122.6</u>

【訂正後】

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ209百万円減少の1,585百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は485百万円(前年同期は536百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益108百万円、減価償却費298百万円及び使用権資産償却費226百万円等の資金増加要因が、売上債権の増減額105百万円等の資金減少要因を上回ったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は683百万円(前年同期は735百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出668百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は75百万円(前年同期は466百万円の支出)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出405百万円及び長期借入れによる収入380百万円等によるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2020年2月期	2021年2月期	2022年2月期	2023年1月期	2024年1月期
自己資本比率(%)	33.4	4.2	39.1	41.1	38.0
時価ベースの自己資本比率(%)	101.4	103.5	96.4	87.8	108.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.2	—	1.2	1.8	<u>1.9</u>
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	125.1	—	24.9	54.0	<u>95.0</u>

(3) 添付資料 11～12 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	352,782	108,900
減価償却費	238,086	298,829
使用権資産償却費	212,613	226,489
減損損失	29,126	61,689
のれん償却額	3,674	5,183
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	8,214	△14,636
受取利息及び受取配当金	△1,225	△3,160
支払利息	9,971	5,109
為替差損益 (△は益)	△325	—
助成金収入	△82,378	—
リース解約損	—	10,936
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,841	△105,301
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,212	△17,854
未収入金の増減額 (△は増加)	△175,343	117,615
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△14,310	103,283
仕入債務の増減額 (△は減少)	164,322	8,491
未払消費税等の増減額 (△は減少)	37,087	△20,002
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	315,104	△144,420
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	33,352	△26,643
その他	△703,799	29,587
小計	285,899	644,095
利息及び配当金の受取額	1,225	3,160
助成金の受取額	353,717	—
利息の支払額	△9,930	△5,100
法人税等の支払額	△94,320	△4,884
リース解約に伴う支払額	—	△10,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	536,590	626,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△681,056	△668,692
無形固定資産の取得による支出	△10,207	—
差入保証金の差入による支出	△35,046	△94,134
差入保証金の回収による収入	—	78,094
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△7,667	△3,404
その他	△1,192	4,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△735,170	△683,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△85,001	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△581,676	△366,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466,677	△216,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	145,908	64,813
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△519,348	△209,231
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,726	1,794,377
現金及び現金同等物の期末残高	1,794,377	1,585,145

【訂正後】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	352,782	108,900
減価償却費	238,086	298,829
使用権資産償却費	212,613	226,489
減損損失	29,126	61,689
のれん償却額	3,674	5,183
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	8,214	△14,636
受取利息及び受取配当金	△1,225	△3,160
支払利息	9,971	5,109
為替差損益 (△は益)	△325	—
助成金収入	△82,378	—
リース解約損	—	10,936
売上債権の増減額 (△は増加)	△121,841	△105,301
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,212	△17,854
未収入金の増減額 (△は増加)	△175,343	117,615
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△14,310	△37,716
仕入債務の増減額 (△は減少)	164,322	8,491
未払消費税等の増減額 (△は減少)	37,087	△20,002
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	315,104	△144,420
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	33,352	△26,643
その他	△703,799	29,587
小計	285,899	503,095
利息及び配当金の受取額	1,225	3,160
助成金の受取額	353,717	—
利息の支払額	△9,930	△5,100
法人税等の支払額	△94,320	△4,884
リース解約に伴う支払額	—	△10,936
営業活動によるキャッシュ・フロー	536,590	485,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△681,056	△668,692
無形固定資産の取得による支出	△10,207	—
差入保証金の差入による支出	△35,046	△94,134
差入保証金の回収による収入	—	78,094
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△7,667	△3,404
その他	△1,192	4,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△735,170	△683,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年1月31日)	当連結会計年度 (自 2023年2月1日 至 2024年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△85,001	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	380,000
長期借入金の返済による支出	△581,676	△405,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△466,677	△75,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	145,908	64,813
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△519,348	△209,231
現金及び現金同等物の期首残高	2,313,726	1,794,377
現金及び現金同等物の期末残高	1,794,377	1,585,145

以上